

LIFE LIGHT LOVE



入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
3. 高等学校における学習によって、基礎的英語力及び入学しようとしてい

る学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)

4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(学修への態度)

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど)及び英語力を身につけ、活用することができる。

3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果(以下「学修成果」という。)を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向け

た初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。

5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

2022年度入学者選抜制度一覽

東北学院大学の入学者選抜は、全12種類。
それぞれの特徴を理解の上、あなたに合った受験方法を選びましょう。

学力試験で受験を希望する方

地区試験場

複数学科出願可能

WEB出願

一般選抜

p.11

大学入学共通テストの成績を利用して受験を希望する方

複数学科出願可能

WEB出願

大学入学共通テスト利用選抜

p.16

本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方
また、合格した場合は入学を確約できる方

専願

総合型選抜

p.19

各選抜制度において、条件を満たし、合格した場合は入学を確約できる方

- 学業成績による推薦…本学が指定した高校で、評定平均値が3.8以上の方
- 資格取得による推薦…日商簿記検定2級以上合格の方で、学習成績の状況が3.8以上の方
全商簿記検定1級合格の方で、学習成績の状況が4.0以上の方
- キリスト者等推薦…キリスト者の方、またはキリスト教の学校の生徒で条件を満たす方
- スポーツに優れた者の推薦…スポーツで特に優れ、入学後もその競技を続ける方
- 文化活動に優れた者の推薦…文化活動で活躍し、入学後も活動を続ける方

WEB出願

専願

学校推薦型選抜

- 学業成績による推薦
- 資格取得による推薦
- キリスト者等推薦
- スポーツに優れた者の推薦
- 文化活動に優れた者の推薦

p.23

- 帰国生特別選抜…本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方
- 外国人留学生特別選抜
…留学を希望する外国籍の方で、日本留学試験の成績が基準以上の方
- 社会人特別選抜…高校を卒業して2年以上経つ方

WEB出願

特別選抜

- 帰国生特別選抜
- 外国人留学生特別選抜
- 社会人特別選抜

p.27

短大・専修学校卒業の方、大学に一定期間在籍し必要単位を修得した方

WEB出願

編入学選抜

p.29

各種データなど

募集要項について	31	入試結果	36
受験上の配慮について	31	奨学金・特待生制度	40
合否照会システムについて	31	学生納付金等	42
小論文過去問(学校推薦型選抜・総合型選抜)	32	オープンキャンパス・進学相談会	43
受験生Q&A	34	資料請求について	43
志望理由書について	35		

新型コロナウイルス感染症に伴う入学者選抜における受験上の注意

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集要項等に記載されている内容(選抜の方法・日程・会場など)に変更があった場合
大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前に必ず確認してください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2022年度の入学者選抜日程と選抜方法を一部変更することにしました。
次ページ以降には、変更前の情報が掲載されたままになっています。ご注意ください。

なお、変更点については、以下の通りです。

①学業成績による推薦(指定校)

面接試験は行いません。なお、面接の配点(100点)については、「志望理由書」で評価します。 ※小論文試験は実施します。

②総合型選抜(A日程、B日程) 第二次選抜

第二次選抜における面接は、次の通りとします。

- ・ 第一次選抜でA、B評価を受けた方は、第二次選抜での面接は実施しません。二次選抜の面接評価は一次面接の評価に準拠します。
- ・ 第一次選抜でC評価を受けた方は、第二次選抜での面接を実施します。

※第二次選抜における小論文は、第一次選抜の評価に関わらず、全受験者に実施します。